

令和5年度 第3回 住吉区総合教育会議 会議要旨

- 1 日 時 令和6年3月26日(火) 午後2時00分から午後3時45分
- 2 場 所 住吉区役所1階 第1会議室
- 3 出席者
 - (委 員)
 - 浅田委員、糸井委員、西野委員、西山委員、藤本委員、松本委員、宮川委員、森委員
 - (区役所)
 - 区担当教育次長、区教育担当部長、関係課長・課長代理
 - (オブザーバー)
 - 我孫子南中学校長
- 4 議 題
 - (1) 令和5年度住吉区における主な教育・子育て関連事業
(令和5年度事業の振り返り・令和6年度事業について)
 - (2) 情報提供
 - ・「校内教育支援センター（スペシャルサポートルーム）のモデル設置」におけるモデル校の決定について
 - ・「学習動画コンテンツ配信モデル事業」におけるモデル校の決定について
- 5 議論のポイント
 - (1) 住吉区における主な教育・子育て関連事業を説明し、委員から意見を聴取した。
 - 《こどもの朝食欠食率改善推進事業》
 - ・事業名と指標についてご意見をいただいた。朝食の欠食について、さまざまな要因があり、この事業だけで解決は難しい。あくまで食育に近いような事業と考えてほしい。事業名とリンクしない部分に関しては検討していく旨説明。
 - 《防災・減災教育と活動の展開》及び《住吉区版「重大な虐待ゼロ」に向けた地域・医療連携ネットワーク事業》
 - ・予算額が「0」というのは、対外的に与えるメッセージとしてはよくないのではないかというご意見をいただいた。防災・減災教育と活動の展開については、「災害に備えた自助・共助・公助の対策事業」として予算はあるが、防災・減災教育だけの予算を計上するのは難しい。次年度以降表現の仕方を工夫する旨説明。住吉区版「重大な虐待ゼロ」に向けた地域・医療連携ネットワーク事業については、令和6年度より「はぐあっぷ推進事業」の中の事業となるが、予算のかからないアプローチの仕方に変更したため、この事業のみ予算計上するのは難しい。次年度以降表現の仕方を工夫する旨説明。
 - (2) 「校内教育支援センター（スペシャルサポートルーム）のモデル設置」におけるモデル校の決定及び「学習動画コンテンツ配信モデル事業」におけるモデル校の決定について情報提供を行った。